

平成25年6月定例会会議録（第2号）

平成25年6月11日 火曜日 午前10時00分開議

小 関 勝 助 議 長 大 道 寺 信 副議長

出 席 議 員 （ 1 6 名 ）

1 番	赤 間 泰 広	議 員	2 番	梅 津 善 之	議 員
3 番	江 口 忠 博	議 員	4 番	今 泉 春 江	議 員
5 番	小 関 秀 一	議 員	6 番	竹 田 博 一	議 員
7 番	我 妻 昇	議 員	8 番	大 道 寺 信	議 員
9 番	蒲 生 光 男	議 員	1 0 番	町 田 義 昭	議 員
1 1 番	佐 々 木 謙 二	議 員	1 2 番	安 部 隆	議 員
1 3 番	渋 谷 佐 輔	議 員	1 4 番	高 橋 孝 夫	議 員
1 5 番	大 沼 久	議 員	1 6 番	小 関 勝 助	議 員

欠 席 議 員 （ 0 名 ）

説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治	市 長	遠 藤 健 司	副 市 長
中 井 晃	総 務 課 長	齋 藤 環 樹	財 政 課 長
鈴 木 一 則	企 画 調 整 課 長	青 木 邦 彦	税 務 課 長
松 本 弘	市 民 課 長	梅 津 明 夫	健 康 課 長
松 木 幸 嗣	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
平 英 一	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	加 藤 芳 秀	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
孫 田 邦 彦	農 林 課 長	梅 津 和 士	商 工 振 興 課 長
鈴 木 広 弥	観 光 振 興 課 長	宇 津 木 正 紀	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	渡 部 政 明	上 下 水 道 課 長
遠 藤 敏 男	管 理 課 長	齋 藤 理 喜 夫	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	鈴 木 良 輔	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
高 橋 徹	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	児 玉 行 宏	監 査 委 員 事 務 局 長
鈴 木 隆 政	農 業 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 智	消 防 主 幹

事務局職員出席者

飯澤常雄 議会事務局長
鈴木和夫 議事調査係長
小林克人 補佐
小川由美 庶務係長

議事日程（第2号）

平成25年6月11日 火曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

3番 江口忠博 議員
4番 今泉春江 議員
1番 赤間泰広 議員
14番 高橋孝夫 議員
10番 町田義昭 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第2号）に同じ

開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は、定足数に達しております。

なお、朝日新聞記者から、今定例会中のパソコン、カメラ、録音機の使用について申請があり、許可いたしましたので、報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは順次、ご指名いたします。

江口忠博議員の質問

○小関勝助議長 順位1番、議席番号3番、江口忠博議員。

(3番江口忠博議員登壇)

○3番 江口忠博議員 おはようございます。

質問に入る前に、まずこのたび新議長に就任されました小関勝助議長におかれましては、残り2年となりました私たち議員の任期、この間、

よくリードをしていただき、健全な議会の牽引役としてご尽力いただきますようお願いを申し上げます。一言議長就任へのお祝いとしてお言葉を述べたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、本来であれば、もう梅雨時に入っているもおかしくない時期ではあります。きょう、市役所の玄関を通ってきました、あやめの花が11鉢ほど飾られておりました。長井を代表する花であります。本日、傍聴席を見ますと、傍聴席にもあやめの花が少し咲いておるようでございまして、大変ありがたく思っております。

それでは、本日の質問に入りたいと思います。きょうは、大きく3つの事項について質問をさせていただきます。

まず1つ目、森林と水資源の保護政策についてであります。水と緑と花のまちを標榜してきました長井市にとって、命の水を守って後世に伝える責任の重大さは、今さら論をまつまでもありませんけれども、水を守るということは、この水の源である森林をいかに守り育てていくかという課題をずっと背負い続けているということでもあります。つまり環境政策への関心を高めて次世代に引き継いでもらう必要があるということではありますが、ここで、先日、6月2日の河北新報の第1面に載りました「核廃棄物の行方」と題しましたシリーズ物の記事に、旧動燃が東北地方で行った最終処分地選定のための調査の図がありまして、東北地方25カ所の適地とされた市町村の中に、この私たち長井市が山形県でただ1カ所の地点として載っていることをお知らせしなければなりません。

この最終処分地の適地問題は、一昨年(2011年)の23年9月定例会においても今泉議員が質問されておられますが、そのときの市長答弁では、「自治体がNUMOに応募しない限り、予定地選定はあり得ない」と答えておられます。当時の市長の答弁は、応募しない限り処分予定地の選定は